## BigQuery 最新アップデート速報!

Google Cloud Next(米国開催) 発表内容から見る データ分析の未来

Google
Cloud Tokyo
Next



## 山田 雄

## Yu Yamada

**Customer Engineer Data Analytics Specialist** 





- 01 Why BigQuery
- 02 主要アップデート

AI関連

DWH周辺

データパイプライン

03 BigQuery と共に創るデータの未来



## 01. Why BigQuery

# 226

## 2024 年における BigQuery の Update 数

226

## 2025年8月現在

179

### "サイロ化されたインサイト"から"統合インテリジェンス"へ

#### データ ウェアハウス

80 年代後半 - 2000 年初期

- 構造化データのみ
- 高い所有コスト
- スケール制限

決まった分析,限られたデータ

### データレイクと データ ウェアハウス

2000 年初期 - 2010 年中期

- 全てのデータタイプ
  - データサイエンスの台頭
  - スケーラブル & コスト効率

データ種類に対応, サイロ化が進む

#### レイクハウス

2010年中期 - 2020年初期

- 統合データプラットフォーム
- オープンデータフォーマット
- 統合ガバナンス & セキュリティ

レイクとウェアハウスのいいところどり、オープン

#### 自律的



#### Data & Al platform

2020年-現在

- Al ネイティブ
- マルチモーダル
- Agentic

統合、エージェント、柔軟性

何が起こったかの報告や事前定義された問いへの回答に最適

データサイエンス、探索的分析、ML モデル 構造化データと非構造化データを組 み合わせて、何が起こったのかとい う問いに答え、ML/AIモデルを構築 マルチモーダル データのリアルタイム インテリジェンスと、すべてのデータおよびビジネス プロフェッショナル向けのエージェント型 AI エクスペリエンス

## **BigQuery**

データの取り込みからAIによる 分析まで、データのライフサイクル 全体を支援して、手作業の労力を 最小限に抑える BigQuery と Vertex AI の シームレスな統合により、 ML/AI モデルのライフサイクルを 迅速に加速し、多様なチームをエンパワー

## 自律的な data-to-Al platform.

複雑なタスクを自動化し、問題を積極的に特定して解決し、専門のアナリスト、エンジニア、保護者として機能する AI エージェント

マルチモーダル データ、AI 駆動型分析、 セマンティック インテリジェンス、 LLM コプロセッシング、多様なエンジン、 会話型 BI、リアルタイム機能を統合した 統合プラットフォーム

## BigQuery イノベーションのテーマ



#### AI によるイノベーション

会話型のインテリジェント検索と新しいエージェントエクスペリエンスを備え、セマンティックレイヤーで精度を向上。



#### 統合された Data & Al プラットフォーム

シームレスな分析、AI 共同処理、マルチモーダルデータに関するリアルタイムの洞察を実現



#### 柔軟かつ将来性

ローコストの AI と 3rd party および オープンソースとのシームレスな相 互運用性

エージェント

統合

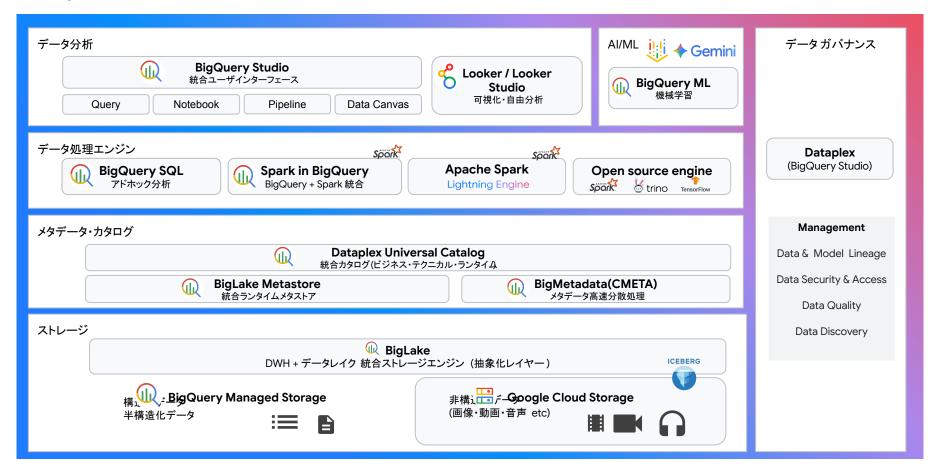
柔軟性

The BigQuery Advantage



## Ⅲ 進化する "BigQuery"

### Open Lakehouse + GenAI + Governance



## 02. 主要アップデート ~ AI 関連 ~

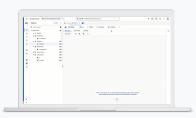
## あらゆるユーザーのための 特化型エージェント

**Specialized Agents for Every User** 





## データ エージェント ファミリー



#### **Data Engineering Agent**

データ準備、データ取り込み、データ クリーニング、ブロンズ→シル バー→ゴールドの自動化



#### **Data Governance Agent**

データ モデリング、メトリック定義、 メタデータ生成



#### **Data Science Agent**

Colab ノートブック エージェント、 探索的データ分析 (EDA)、データ 可視化、予測モデリング



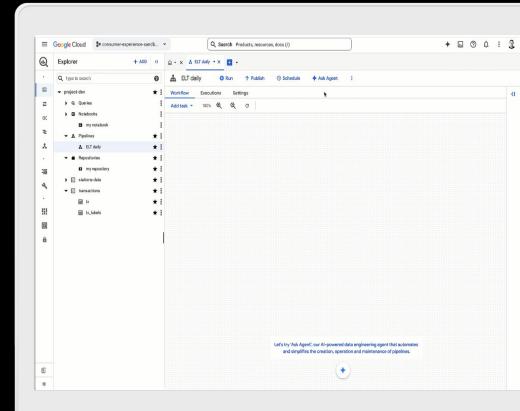
#### Conversational Analytics Agent

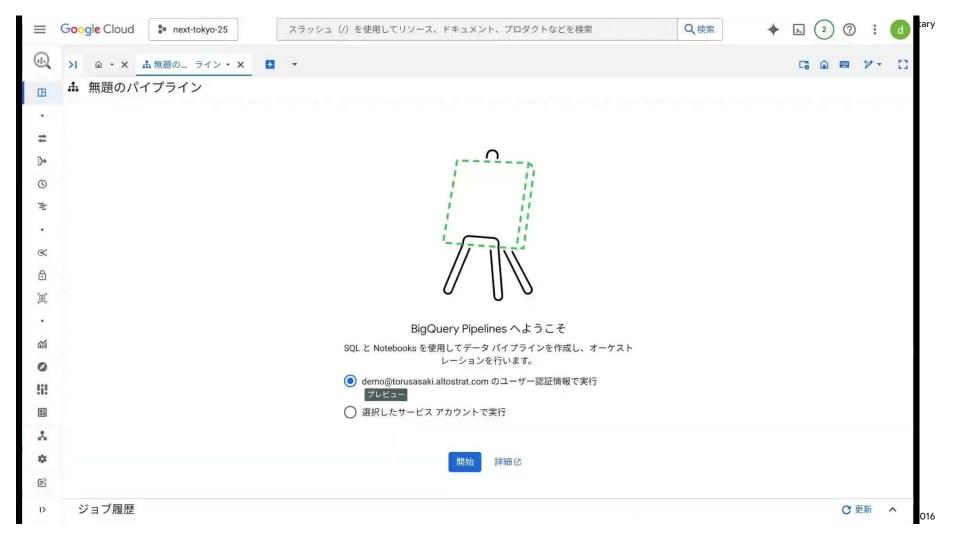
Data QnA, フォーキャスト, マルチモーダル検索

## Data Engineering Agent

自動化されたデータ パイプラインの 作成、キュレーション、最適化。 BigQuery とのシームレスな連携

- → データ パイプラインを大幅に加速
- → 全てのデータ関連ステークホルダーを支援
- → データ品質とガバナンスを保証
- → データ エンジニアリング コストを削減
- → ビジネス インサイトを即座に解き放つ

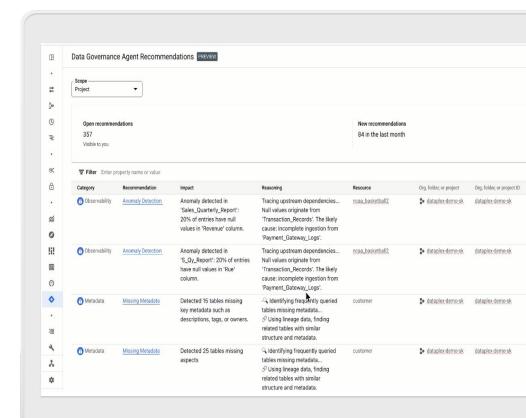




### Data Governance Agent

#### データ ガバナンス タスクを自動化

- → Proactive Governance: コンプライアンス上の不備が 発生するのを待つのではなく、システムがデータ分類、 アクセス制御、データリネージ追跡、ポリシー更新を積 極的に提案
- → Data enrichment: テーブルや列のメタデータを自動 的に生成し、拡充
- → Semantic grounding for agents: エージェントにとって、統制の取れた信頼できる唯一の情報源 (SoT: Source of Truth)
- → Knowledge Graph-Powered Insights: ナレッジグラフを利用してデータセット、メタデータ、ポリシー間の関連性を解明(マッピング)し、リアルタイムでガバナンスに関する推奨事項を提供



## **Automated metadata curation**

- 自動メタデータキュレーションは、明確なドキュメントの欠如や、エラーが発生しやすい手動メタデータ作成に起因する課題に対処します。特にデータセットの規模と複雑さが増すにつれて、こうした課題が顕在化します。
- BigQuery データ インサイト スキャンは、テーブルと列の説明、そしてクエリの推奨事項を 自動生成します
- ユーザーは必要に応じて説明を確認、編集 し、スキーマタブと詳細タブにコピーできます



## 自動的なデータ異常探知

#### データの信頼性を向上

BigQuery の Data Quality 機能で、

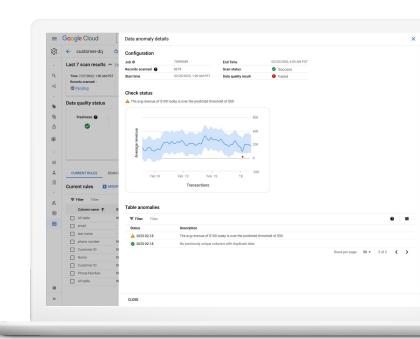
BigQuery テーブルとビューのデータの問題を監視して 自動的に検出する自動データ異常検出のサポートを開始

#### 能動的なリスク対処が可能に

異常を特定し、コストのかかるミス、不正行為、 コンプライアンス違反がビジネスに影響する前に防止

#### AI の力を解き放つ

高度な機械学習アルゴリズムを活用して、 従来のルールベースのシステムでは見逃される 可能性のあるパターンや異常を自動的に検出



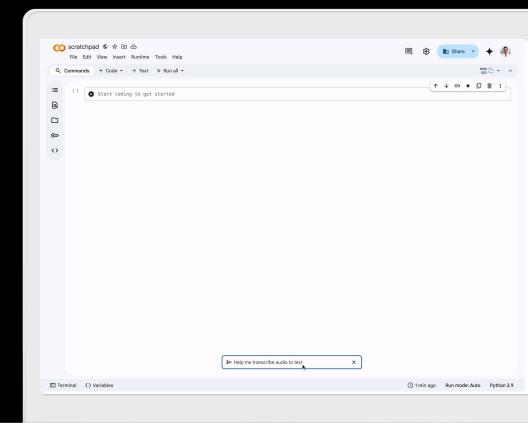
## Data Science Agent

データ サイエンスのタスクを自動化 する 1st Party エージェント

#### 以下の作業を自動化:

- → データ ラングリング: データ フレームの自動取り込みとクリーニング
- → データ探索: ネイティブの視覚化と自動探索分析
- → AIによる予測: Google Research の TimesFM などの最先端のモデルを含む AI を活用した予測
- → **モデル評価**:精度と生産準備状況をより深く理解するためのモデル評価

Callout Agent session



#### プレビュー

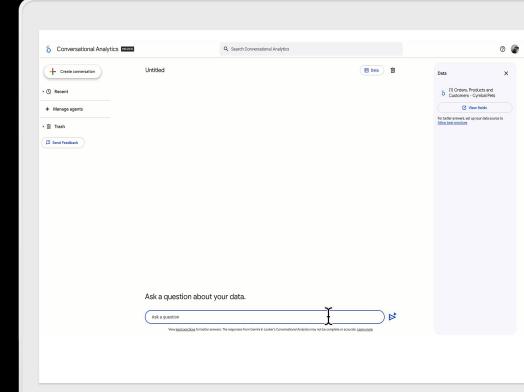
## **Conversational Analytics Agent**

データ分析タスクを自動化する 1st Party エージェント

#### 以下の作業を自動化:

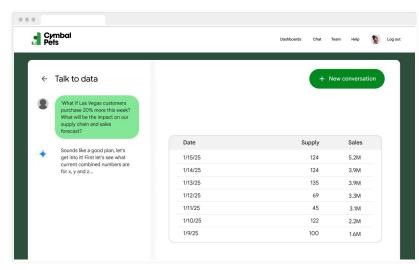
- → 分析の民主化: 自然言語ベースのインサイト
- → Custom data agents: 迅速な導入を可能 にするクイック スタートを備えた柔軟な API
- → **Direct connect to BigQuery:** BigQuery でデータを直接探索するか、Looker のセマンティック レイヤーと組み合わせる
- → Python の Code interpreter: 複雑なデータ サイエンス タスク用の Python コードを生成

ビジネスレイヤーの人にもデータ分析を



## **Conversational Analytics API**

エンタープライズ横断で Data Agent をカスタマイズ & デプロイ









#### カスタム エージェントを迅速に開発

クイックスタートを備えた 柔軟な API で迅速な導入を実現



#### 分析目的に特化した API

ビジネスインテリジェンス、データ探索、 分析向けにチューニングされたAI サービス



#### BigQuery へ直接接続可能

BigQuery でデータを直接探索するか、 Looker のセマンティックレイヤと組み合わせる



## 再利用可能でスケーラブルな セマンティック レイヤー

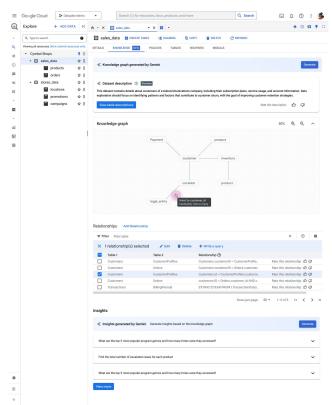
精度の向上と高度なマルチテーブル分析

Google Cloud コンソールに入らずに Slack など普段使い慣れた IF からのデータ分析が可能

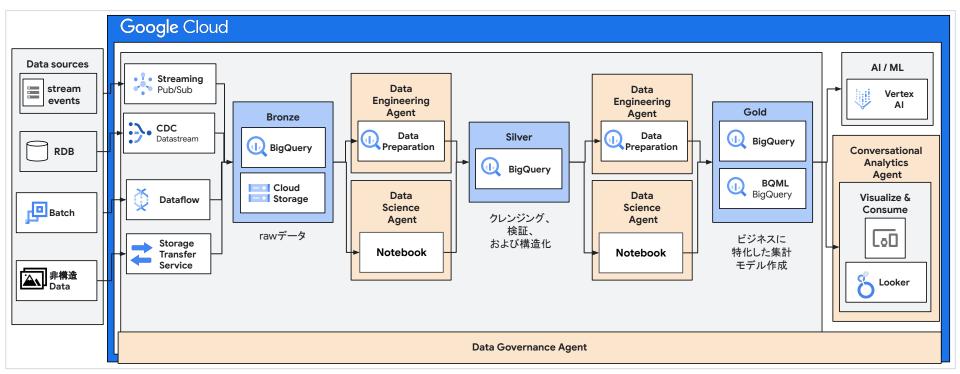
## 動画あり アーカイブ動画をご視聴ください

## **BigQuery Knowledge Engine**

- BigQuery Knowledge Engine は、
   Knowledge Graph の力を活用して、
   高度なデータインサイトとデータ連携を
   実現します。
- 多様なデータセットとメタデータを統合することで、ユーザーはテーブル間の隠れた関係性を発見し、テーブル間クエリを生成し、より深い分析インサイトを得ることができます



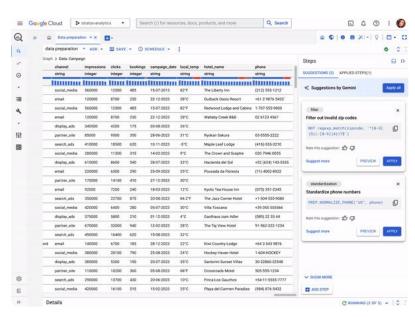
## メダリオン アーキテクチャ with Data Agents



## Gemini in BigQuery - Al for everyone

#### Gemini の主要機能が無料で利用可能に

- SQLコード生成 / 説明 / 補完
- Python コード生成 / コード補完
- Data canvas
- Data preparation



#### 高度なコンテキストとプロアクティブな管理ツールを柔軟な価格帯から選択

Google Cloud Next 027

## SQL の生成・補完 / 色々な呼び出し方



① コーディング サポートツールで生成

```
1 # weather.data を使い、東京の一日ごとの平均気温を計算して
2 SELECT

DATE(datetime) AS date,
   AVG(temperature) AS average_temperature
FROM
   `event24-438905.weather.data`
WHERE city = 'tokyo'
GROUP BY 1;
```

② SQL エディタのコメントで生成

```
SELECT

city,

DENSE_RANK() OVER (PARTITION BY city ORDER BY temperature DESC) AS temperature_rank,

DENS DENSE_RANK()

reather_rank

FROM

'event24-438905.weather.data

FROM 'event24-438905.weather.data'
```

③ SQL エディタで入力中に自動補完 Preview (灰色部分が補完候補)

### SQL の翻訳 Interactive SQL Translator

- 異なる DB の SQL から GoogleSQL への翻訳を支援
- イメージとしては Google 翻訳の SQL 版

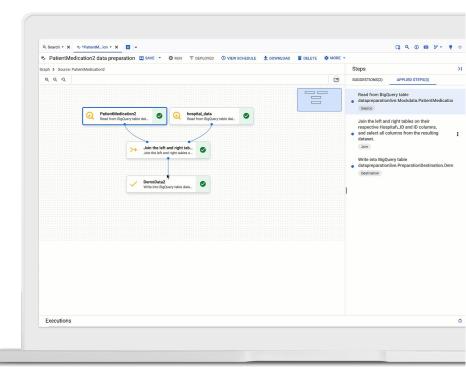


HiveQL から GoogleSQL への翻訳

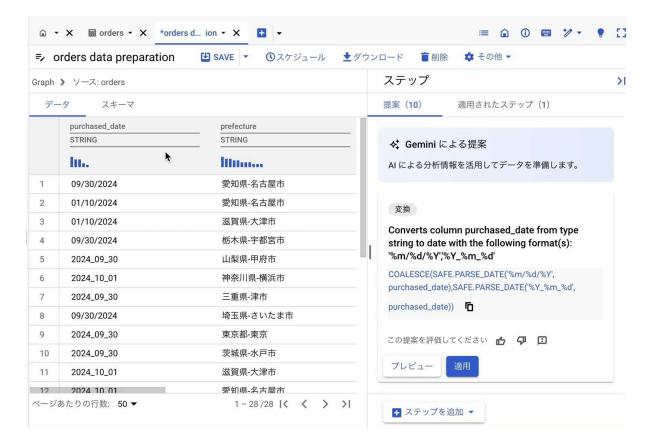
## BigQuery Data Preparation (データの準備)

BigQuery Studio 内のデータプリパレーションエージェント

- Gemini の支援により SQL データ パイプラインを数分で開発
- コンテキストを考慮したAI 生成の変換機能により、データの検出、 クレンジング、変換を実行可能に
- スキーママッチング、 ビジネスとデータ品質のアサーション生成を 自動化することで、時間を節約
- GitHub との連携により、BigQuery で デプロイとオーケストレーションを実行可能



## Data Preparation / 注文データをクレンジング



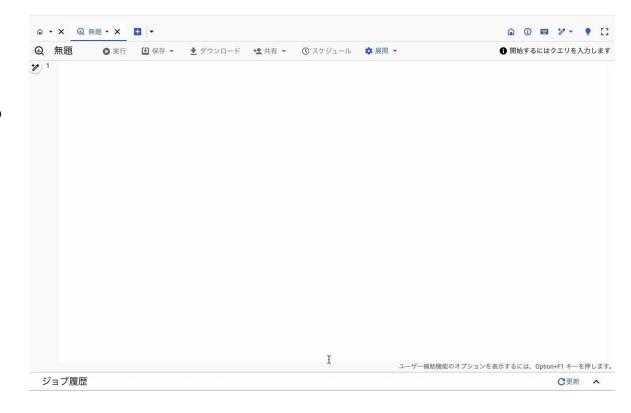
### **Data Canvas**

自然言語も組み合わせながら 視覚的にデータを探索できる

### Gemini は

- データの検索
- SQL の生成
- チャートの生成

を支援する



## **BigQuery Al Query Engine**

LLM の力をデータプラットフォームに組み込み

#### セマンティックな洞察を抽出するのは 困難

何百万もの製品レビューを考慮すると:

- 最も頻繁に表面化する、繰り返し発生する問題は?
- どの代替製品が推奨されるか?
- どのレビューが安全性を懸念しているか?

#### Al Query Engine が作業を<u>簡素化</u>

- 使い慣れた SQL と自然言語プロンプト
- アナリストが簡単に使用でき、AIの専門知識は不要
- BigQuery DataFrames の Pandas ライクな
   Python インタフェース
- SQLで実現が難しい分析に

FROM reviews JOIN products
ON AI.IF(f"{review} recommends
{product} as a better
alternative")

## 02. 主要アップデート ~ DWH周辺 ~

## BigQuery - 新しいWorkload Management

### Flexibly assign reservations

ユーザーが Runtime Reservation を選択可能に

#### / 特徴

- デフォルト予約を上書きして選択可能に
- 選択するには IAM ロールの付与が必要
- IAM Condition で特定の予約に制限可能

name, gender

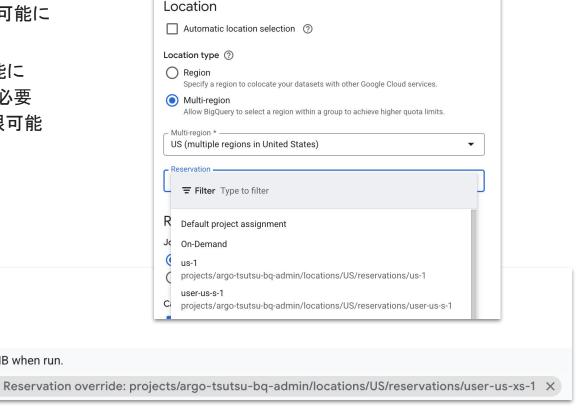
Processing location: US X

This guery will process 99.95 MB when run.

ORDER BY

LIMIT

10





## BigQuery クエリ実行グラフと SQL 文の対応可視化が可能に

- 実行グラフでノードをクリックすると、このノードが SQL 文のどの箇所に対応するのかハイライト表示される(クエリ実行プランも紫色で、SQL 文の対応箇所に補われる)
- 実行プランの読み解きがより簡単に:高度なパフォーマンス チューニングが容易に



### GROUP BY 句のいくつかの拡張が GA

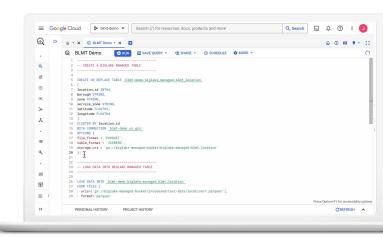
- GROUP BY STRUCT
- GROUP BY ARRAY
- GROUP BY ALL

Google Cloua inext токуо

## BigLake tables for Apache Iceberg in BigQuery GA

旧 BigQuery tables for Apache Iceberg がリネームして BigLake tables for Apache Iceberg in BigQuery という名前で GA しました

- ✓ **セルフ マネージドとフルマネージド** の lceberg エクスペリエンス を選択可能
- ✓ 優れた費用対効果を実現 するために Iceberg データを自動最適化
- ✓ BigQuery と OSS エンジン全体で読み取り遅延なしで 1 秒あたり 10Gbps のスループットにスケール
- ✓ BigQuery ML Vertex AI 統合は、BQ ネイティブ テーブルと同様に Iceberg テーブル上で動作
- ✓ Iceberg テーブルに対するきめ細かいセキュリティとガバナンスが、 複数のエンジン間で適用可能



## BigLake metastore がリリース (GA)

旧 BigQuery metastore がリネームして BigLake metastore という名前で GA しました



#### 単一の共有メタストア

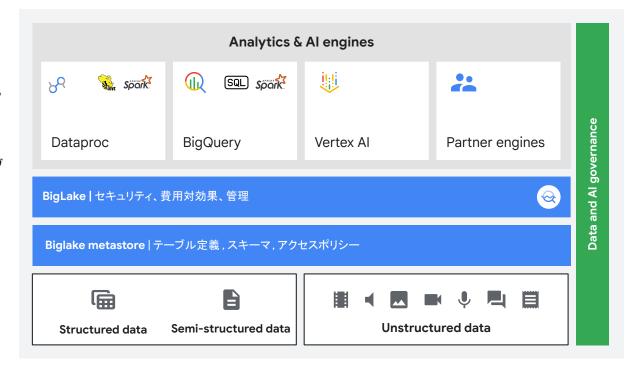
SQL、オープンソース エンジン、AI/ML のためのランタイム メタデータとコネクタ

#### 構造化データと非構造化データのサポート

同じランタイム メタストアを使用して、構造化テーブルとオブジェクト テーブルの両方をクエリ可能

#### 統合ガバナンス

すべてのメタデータが大規模なポリシー管理に利用可能



## BigQuery アドバンスト ランタイムが使用可能に

アドバンスト ランタイムは、BigQuery クエリ プロセッサに拡張ベクトル化を提供します。 拡張ベクトル化は、BigQuery ストレージでのフィルタ評価、専用のデータエンコード、最適化手法など、クエリ 処理の重要な側面にベクトル化を適用することで、ベクトル化されたクエリの実行を拡張します。

#### / 特徴

- スキーマやコードの変更なしで、クエリを最大200倍高速化
- スロットタイムを全体で最大40%削減
- ショートクエリのスロットタイムを最大10倍削減
- 完全自動化により、他のクエリに影響を与えることなく、対象となるクエリを安全に高速化
- 既存のオブザーバビリティダッシュボードまたは
  INFORMATION\_SCHEMA.JOBSを使用して、パフォーマンスへの影響
  をモニタリング
  Slot time (ms) by project

高度なランタイムを有効にする
プロジェクトで高度なランタイムを有効にするには、ALTER PROJECT ステートメントを使用してデフォルト構成を変更します。ステートメントで、query\_runtime 引数を 'advanced' に設定します。次に例を示します。
ALTER PROJECT\_PROJECT\_NAME / SET OPTIONS (
 'region-LOCATION / .query\_runtime' = 'advanced'
);





## 設定画面からデフォルト設定を設定可能に

設定画面から個人/構成設定を設定することが出来るようになった

#### / 特徴

以下の2種類の設定が可能

- 個人設定: BigQuery Studio でセッションを開始したときに適用される デフォルト設定
  - 一部の設定はプロジェクトまたは組織から継承されますが、「個人設定」ページで上書きできる
- 構成設定: 管理者は、選択したプロジェクトまたは組織内のユーザーに対して BigQuery Studio をカスタマイズできます。
   これは、「結果の保存 > CSV(Google ドライブ)」、「開く > Looker Studio」、「エクスポート > スプレッドシートで探索」などのユーザー インターフェース要素の表示 / 非表示を切り替えられます
  - ※これらの設定は、BigQuery Studio で非表示になっている場合でも、基盤となるデータやツールへのアクセスを制限するものではありません。組織レベルで変更を行うにはbigquery.config.get 権限が必要です。



## BigQuery Tables の CMETA が GA に

BigQuery tables と external tables の両方でメタデータ インデックスを作成することが可能に

#### / 特徴

- INFORMATION SCHEMA を介して CMETA の状態を監視可能
- 1 GiB を超える BigQuery テーブルのメタデータを自動的にインデックスに登録
- インデックスの鮮度要件が厳しい場合は、CMETA 用のスロット予約(検索インデックスのメンテナンスなどの他のシステムタスクと共有可能)を作成可能 (Bring-Your-Own-Slots)とも呼ばれます。

## BigQuery 継続的クエリ

継続的な SQL 処理により

新しいインテリジェントな データ パイプライン能力を解き放つ

#### SQL ベースの 継続的な分析処理

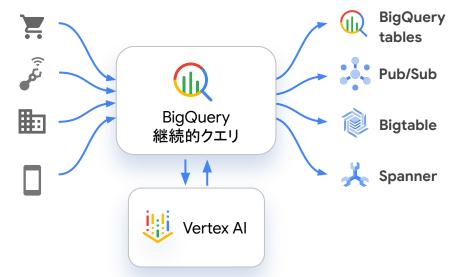
BigQuery スケールで、SQL を使用して受信データのストリームに対して無制限のサーバーレス分析を実行

#### リアルタイム アプリ開発への生成 AI

リアルタイムの感情分析、推奨事項、異常検出などの AI + ML 機能 を備えた自動化パイプラインを開発

#### オペレーショナル システム への リバース ETL 連携

BigQuery のデータをリアルタイムでプログラム的に変換し、 Pub/Sub、Bigtable、Spanner、別の BigQuery テーブル、または幅 広い検証済みのパートナー統合に複製





## **BigQuery - Pipe syntax**

- パイプ構文のサポートによって、データ操作を任意の順番で記述できるように
- 複雑な SQL を直感的に分かりやすく記述できる
- SQL のデバッグも可能

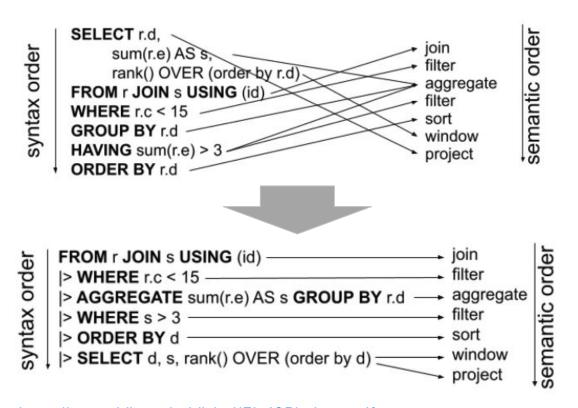
#### 従来の構文

```
SELECT state, item_type, AVG(total_cost) AS average
FROM
  (
    SELECT
        SUM(cost) AS total_cost,
        customer_id,
        state,
        item_type,
        COUNT(*) OVER (PARTITION BY customer_id) AS num_orders
    FROM mydataset.customer_orders
    GROUP BY customer_id, state, item_type
    QUALIFY num_orders > 1
    )
GROUP BY state, item_type
ORDER BY state DESC, item_type ASC;
```

#### Pipe syntax

```
FROM mydataset.customer_orders
|> AGGREGATE SUM(cost) AS total_cost, GROUP BY customer_id, state, item_type
|> EXTEND COUNT(*) OVER (PARTITION BY customer_id) AS num_orders
|> WHERE num_orders > 1
|> AGGREGATE AVG(total_cost) AS average GROUP BY state DESC, item_type ASC;
```

```
/*----+
| state | item_type | average |
+-----+
| WA | clothing | 35.0 |
| WA | food | 3.0 |
| NY | clothing | 16.0 |
| NY | housewares | 22.0 |
+------*/
```



02. 主要アップデート ~ データ パイプライン ~

## BigQuery - DTS が MySQL と PostgreSQL に対応

#### / 特徴

- BigQuery Data Transfer Service の MySQL/PostgreSQL コネクタを使用すると、インスタンスから BigQuery にデータを取り込むことができます
- オンプレミス環境、Cloud SQL、および Amazon Web Services(AWS)や Microsoft Azure など の他のパブリック クラウド プロバイダーでホストされているインスタンスをサポートしています。
- また、BigQuery Data Transfer Service の コネクタを使用すると、データベースから BigQuery にデータを転送するためのオンデマンドおよび定期的なデータ転送ジョブを作成できます。

#### /ユースケース

● MySQL もしくは PostgreSQL からデータを移行したい場合

## BigQuery - Spanner \ D Export

#### / 特徴

- BigQuery のデータを SQL で Spanner へ Export 可能に
- Enterprise or Enterprise Plus のみ対応 (on-demandも非対応)

#### /ユースケース

Spanner への ReverseETL

#### /制限事項

- 1 行の上限は 1MiB
- 6時間以内に終わるクエリ

```
EXPORT DATA OPTIONS
(
uri
="https://spanner.googleapis.com/projects/PROJECT_ID/instances/INST
ANCE_ID/databases/DATABASE_ID",
format = 'CLOUD_SPANNER',
spanner_options = """"{ "table": "TABLE_NAME" }"""
)
AS
SELECT * FROM mydataset.table1;
```

#### Spanner external datasets

## BigQuery - External Dataset の Spanner サポート (GA)

#### / 特徴

- Spanner のデータベースにリンクされた
   BigQuery の「外部データセット」を作成可能に
- デフォルトで Spanner の Data Boost が有効になる (変更不可)
- 外部データセットは読み取り専用で、編集不可
- 制限
  - Analytics Hub や Dataplex の Data Profile、 Quality、マテビューは使用不可
  - 行・列セキュリティや列マスキングは使用不可
  - SQL auto completion 使用不可

```
CREATE EXTERNAL SCHEMA DATASET_NAME 
OPTIONS (
    external_source = 'SPANNER_EXTERNAL_SOURCE I',
    location = 'LOCATION I');
```

#### Spanner external datasets

## **BigQuery - Dataplex automatic discovery**

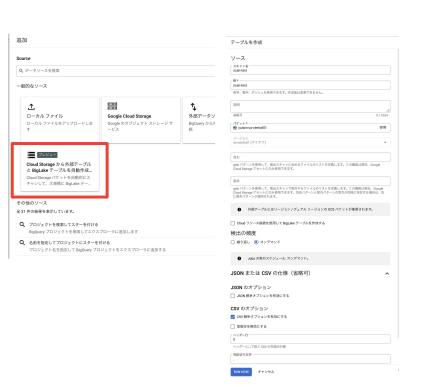
BigQuery & Dataplex - Discover and catalog Cloud Storage data が GA になりました

#### 特徴

- 指定した GCS のパスのデータをスキャンして、カタログの自動作成、Biglake テーブル、外部テーブル、オブジェクト テーブルを自動作成
- CSV, Parquet, Avro, ORC, JSON (newline-delimited) などの構造化・半構造化データ、および画像や動画などの非構造化データに対応
- 定期的なスキャンまたはオンデマンドスキャンが実行可能

#### ユースケース

 煩雑に置かれているデータをスキャンするのではなく、ある程度 データを整理した上でスキャンし、csv から biglake テーブルを作 成することを自動化、あるいは画像データのメタデータを Object Table として登録することを自動化



### Pub/Sub メッセージを直接変換する SMT 機能が GA

メッセージの内容や属性を直接変更できる「シングルメッセージ変換(SMT)」機能が一般提供

#### / 特徴

- トピックへの公開時、またはサブスクリプションからの受信時に軽量な変換処理を挟むことができ、簡単なデータ加工のために Cloud Functions や Dataflow などの別サービスを用意する必要がなくなる
- 変換には JavaScript のユーザー定義関数(UDF)を利用する

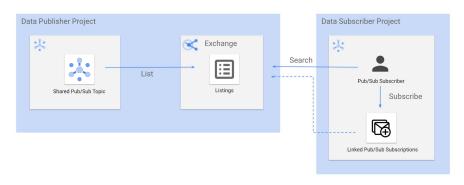
#### /ユースケース

- データ マスキングと除去: クレジット カード番号や PII などのフィールドをマスキングまたは除去して機密データを保護し、データ プライバシー規制に準拠します。
- データ形式の変換: ダウンストリーム システムとの互換性を確保するために、異なる形式間でデータを変換します。
- メッセージのフィルタリング: コンテンツまたは属性に基づいて不要なメッセージを除外し、関連するメッセージのみを処理します。SMT を使用すると、Pub/Sub の組み込みフィルタよりも複雑なフィルタ 条件を指定できます。
- シンプルなデータ変換: 文字列操作、日付のフォーマット設定、数学演算などの基本的なデータ操作 タスクを実行します。

## BigQuery - BigQuery sharing で Pub/Subトピックを共有

#### / 特徴

 BigQuery sharing(Analytics Hub) を通じて Pub/Sub ト ピックを共有し、社内外の組織にストリーミングデータのラ イブラリを配布。



#### /ユースケース

- ◆ 金融
  - 金融商品の価格・相場・注文情報をリアルタイムで共有
  - マネーロンダリングや決済詐欺の検知
- 小売
  - 店舗の在庫管理
  - マーケティングとカスタマー サポートのパーソナライズ
  - ダイナミック プライシング
- ヘルスケア
  - リアルタイムで患者のリスク分析
  - o ウェアラブル デバイスによるバイタル モニタリング
- 通信
  - ネットワークの健全性監視・障害予測

## Google Maps Places データが BigQuery で利用可能 に

BigQuery Data Clean Room で Google Map の 豊富な POI データと自社データを統合

#### セキュアにデータを結合

自社の独自データと Google Map の Advanced Places Insights データを統合。 Data Clean Room により、データと分析のプライバシーが確保される

#### 定期的な更新 & 包括的なインサイト

2億5000万以上の企業や場所について、場所の種類、評価、営業時間などの主要な POI 属性をクエリすることで、最新かつ包括的なインサイトを獲得。ビジネスニーズに合わせた統計的なインサイト(例:場所の密度)も発見可能

#### 複雑な分析を可能にする使い慣れたツール

Places データを既存のワークフローに統合し、クラウドや BigQuery エコシステム内の他のツールと連携可能。BigQuery のスケールとパフォーマンスを活用して、あらゆる規模の分析を強化



An example using Advanced Places Insights to analyze what businesses are open by time of day and day of week and visualized in Looker Studio

## 03.BigQueryと共に創るデータの未来

# Your ideal Data Warehouse. 今日もこれからも





#### **PAST & PRESENT**

サーバレス ストレージとコンピュートの分離 データの民主化



#### Why BigQuery?

圧倒的なシンプルさ 拡張性 知性・自律性



#### **FUTURE**

生成AIとの完全な融合 Agentによるデータとの対話 真の民主化 組織の意思決定の中軸に

『データと対話する』 インテリジェント・プラットフォームへ